



# Via Latina 22

2022年11月 315号

## 総本部よりのお知らせーマリア会

USA管区での初誓願式 .....	1
日本地区長の任命 .....	2
フランス管区からフランス地区への変更式典 .....	3
総長評議員会のスペイン管区を訪問 .....	4
ローマのシャミナード国際神学校共同体の巡礼 .....	6
マリアニスト教育事業体の最初の世界会議 .....	7
今日の聖性 .....	8
2022ー2023年の国際名簿が間もなく届きます！ .....	9
「ともに歩む教会」に関するシノドスへの奉獻生活の貢献 .....	9
移住者と難民のためのお祈り .....	10
世界マリアニスト祈りの日 .....	11

## USA管区での初誓願式

2022年10月8日、Jesús Alvarez Peña士がメキシコ、ケレタロのグアダルペの聖母教会でマリア会の初誓願を宣立しました。マリア会修練院長、Dennis Bautista士と副修練院長、Tim Eden師は、養成と識別の期間を経た後、Jesús士が誓願宣立に相応しい候補者であると紹介しました。彼の誓願はUSA管区の管区長、Oscar Vasquez師によって受け入れられました。主な共同司式者として、霊生部長、Tim Kenney師とグアダルペの聖母共同体司祭のQuentin Hakenewerth師でした。



**Jesús Alvarez Peña士、初誓願を宣立する**

誓願者の多くの家族、友人、そしてマリアニスト家族のメンバーが誓願式とその後のレセプションに出席しました。またこの式典は、世界各地のマリアニスト家族メンバーや友人たちがこの誓願式にバーチャルで参列できるよう、インターネットで配信されました。

Jesús Alvarez Peña士は25才で、メキシコケレタロ出身の母Maria Elena Peña Monroyと父Salvador Alvarez Ariasの息子です。彼の家族は敬虔なカトリック信者で2名の兄弟姉妹がいます。

Jesús 士は2018年2月に修練期の準備期間を開始しました。彼の最初の課題はサンアントニオのセント・メリーズ大学で英語を勉強することで、彼はそこのマリアニスト共同体Casa Mariaで生活しました。それから2020年に、その養成の一部として、彼はマリアニスト修練院で生活するためにオハイオ州、デイトンに移りました。彼は現在、メキシコ、ケレタロのマリスト大学で学士号を習得するため勉学を続けています。

---

## 日本地区長の任命



マリア会総長、André-Joseph Fétis師は、総長評議会全員の合意を得て、日本地区の地区長として2期目、3年の任期でヨゼフ市瀬幸一師を再任しました。彼の任期は2023年4月1日から始まり、2026年3月31日に終了します。地区のメンバーからの意見聴取で示された彼への支持は幅広いものでした。

市瀬師はこの任命を快く引き受けました。総長評議員会は、彼が第1期で成し遂げた任務を高く評価し、寛大なところで再任を受け入れたことに感謝します。

# フランス管区からフランス地区への変更式典 － ボルドー・マドレーヌ (2022年10月1日) －

8月15日、フランス管区はフランス地区になりました。この変更は管区の代議員によって要請されましたが、彼らは地区としての構造がこの行政単位のマリアニスト生活と宣教活動により適っていると判断したのです。公式の変更の日(8月15日)は式典には適していませんでした。それに替わって10月1日に、地区長、Jean-Marie Leclerc士とその評議員会、種々共同体からの会員たち、フランス各地にてマリアニスト宣教奉仕で活動しているマリアニスト家族の代表者と協働者たちの出席の下、フランス地区というこの新たな段階への式典がとり行われました。マリア会総長、André-Joseph Fétis師と教育局長、Maximin Magnan士が総本部を代表して出席しました。マリアニスト家族が生まれ育ち、また最初の会員たちが初誓願を宣立したマドレーヌ聖堂は、この式典にとって理想的な環境でした。この日は、1817年10月2日、ボルドーにおけるマリア会創立を記念するという背景に合わせて、私たちがフランス地区への変更という機会を祝うようにしてくれました。

Fétis総長がその説教の中で述べたように、変化はいのちの印しであり、神が誠実さと創造性をもって私たちに止むことなくお与えになる命の印しなのです。私たちの最初の会員たちは、1817年に、まだ一つの共同体も具体的な組織も持っていない修道会に自分自身を捧げることによって、信仰の行為をしました；その時、彼らには住む家さえなかったのです。彼らはその信仰のもつ大胆さによってこれらの不確かさを克服しました。他のメンバーをリードすることが出来たのは最も若い2人で、両方ともJean-Baptisteという洗礼名をもつLalanneとCollineauです。最初から、彼らは教育者として、労働者として、或いは将来の司祭として、この計画の奉仕にその多様なタレントを捧げることが出来ました。



フランス地区憲章(抜粋) 総長の手からフランス地区長、Jean-Marie Leclerc士に

フランス地区は、マリアニスト家族およびマリアニスト宣教における多くの協働者と一致して、今日の世界の呼びかけと課題に応えるので、この地区に実りある歩みを賜るよう願います。

## 総長評議員会のスペイン管区を訪問

10月1日から、総長評議員会の4名のメンバーはスペイン管区全体の会員と彼らの事業体を訪問しました。マドリードで4名一緒に始めた後、彼らは2名ずつペアとなってそれぞれの共同体を訪問し、数日間会員たちと一緒に生活し、彼らの使徒的事業と宣教活動を知るようになって過ごしました。現在スペイン管区には150名程度の会員がいます。

マリアニストは、多くの都市で優良な学校として知られ、非常に尊敬されている教育者であると同時に、幾つかの小教区や他のタイプの宣教活動でも知られています。スペイン管区の学校は“Fundación Educación Marianista Domingo Lázaro”と呼ばれる非常に活動的で支え合うネットワークに組織されており、SMとFMIの学校のすべてを組織に組み入れています。管区評議員会のメンバーと信徒の指導者たちによって緊密に活性化されたこのネットワークの中で、実務的、財務的、カリスマ的、そして教育的なあらゆるレベルでの支援が、スペインの中でマリアニスト教育を指導的存在となるべく力を与えてきました。同時に教育という恵まれた手段を通して信仰を伝達するという私たちの長い伝統を保持してきました。訪問全体を通して、総長評議員会はそれぞれの学校で非常に多くの信徒協働者、先生方、および指導者たちと会えてうれしく思いました。



共同体、事業体視察訪問の前に管区長評議員会との合同会議

管区のもう一つの財団である「SM財団」は、「SM出版社」と共にスペイン全土とラテンアメリカの多くの国々の教育全体に幅広い影響を有しています。教育的および宗教的な出版におけるリーダーとして、また教育と学校を支援する奉仕活動として、「SM出版社」は世界中で「SM財団」の創造的

で画期的な人道的・教育的計画のためにこの財団に支援を提供しています。



若い生徒たちが“イエスとの出会い”というプログラムに参加する。このプログラムは全スペインのマリアニスト校で提供され、子供に祈りとキリストとの関係性を紹介するものです。

スペイン管区の一つの宣教地であるブラジルとキューバの訪問は少し前に行われたのですが、この2つの地域でマリアニストの伝統は良く根づいていること、また独自のやり方で根づいているそれぞれの地域は、会員たちが奉仕する人たちから高く評価されているということが今回の訪問で良く分かりました。



スペイン カディスの子供たちとの集まり

ヨーロッパの他の行政単位のように、スペインもまたメンバーの高齢化、彼らへの兄弟的介護、そして共同体と事業体で必要な存在を維持するという課題に直面しています。こうして、ここ数年に亘り会員たちは内部的な再構築と信徒協働者の気配りのある養成のための計画を進展させ、その計画を通して現在働いています。訪問したそれぞれの場所で、総長評議員会は絶大な支援、献身、そして協働者の間での優秀さを見出しました。これは喜びと希望の源です。

管区には現在のところ修練者はいませんが、青年司牧への会員たちの関心は模範的です。具体的な召命司牧と共に、この関心は若者が召命の招きに応えるかもしれないという希望を生き生きとさせます。学校で始まり、活発で献身したMLCや他の活動体で継続しながら、信徒マリアニストの枝は全国で強力な存在となっています。FMIも同様に、宣教的、教育的活動の両方で長い伝統を有しています。活動的な家族評議会は、幾つかの共通の事業や活動によって、マリアニスト家族内で、また全国で、一致とアイデンティティを促進しています。

この訪問は、総長評議員会の報告書を提出して数日のうちに終了します。評議員会のメンバーにとって、優しい思いやり、兄弟愛のもてなし、そしてスペイン管区の生活と宣教活動を分かち合う機会は喜びと恵みでした。私たちの祈りの中でスペイン管区の会員たちのために祈りましょう。特に、柱の聖母のご保護の下に、彼らの生活と宣教活動の上に多くの召命と祝福を願いながら……。

---

## ローマのシャミナード国際神学校共同体の巡礼

本年、ローマのシャミナード国際神学校共同体は3年毎に行われる重要な活動を実施しました。フランスとスペインにある私たちの創立の場所への巡礼です。9月17日から27日にかけて共同体はボルドー、ムシダン、ペリグー、アジャン、マドリード、そしてサラゴサを訪問しました。これは単なる地理的な旅ではなく霊的な旅でもあり、Manuel Cortéz師の指導による長期にわたる黙想と祈りの旅でした。この祈りと黙想の時は、創立者の足跡をたどりながら、マリアニストの霊的生活により深くふれる経験を神学生たちに与えました。彼らが行くところではどこでも、地元の男女マリアニスト修道者たちが神学校共同体を大歓迎してくれました。神学生たちは、現地の共同体がこの巡礼を兄弟的雰囲気ですら真にアットホームに感じるよう気配りしてくれた全てのことに感謝しています。この巡礼が神学生の養成に大きく貢献するものであることは疑いありません。



ペリグーにある福者シャミナード師が生まれた家の前で

左より：Messi Gatiens 士 (コンゴ)、  
Showrry Ravulapalli 士 (インド)、  
José Luis González 士 (メキシコ)、  
神学校校長 Miguel Ángel Cortés 師 (スペイン)、  
副校長 Frédéric Bini 士 (トーゴ)、  
Claudel Noël 士 (ハイチ・コートジボワール)

## マリアニスト教育事業体の最初の世界会議



SMとFMIの教育局によって主催された“世界的教育協定とマリアニスト教育”会議が2022年10月18日～19日に開催されました。この会議はズーム形式で行われ、24ヶ国から370名以上の教育者が参加しました。

初日には、参加者は先ずこの主題に通じた人たちの発言を聞き、それから、世界的教育協定の基本的な点とその組織化された計画への統合について討議しました。2日

目には、マリアニスト家族という背景で生じるこの統合についての具体的な経験が報告され、初日と同様に、少人数でのグループで更なる意見交換が行われました。FMIとSMのそれぞれの総長が出席され、彼らの効果的な存在と彼らからの勇気づけられる発言で2日目価値あるものとなりました。



FMI総長シスターSusanna Kimはマリアニスト教育者たちに向けメッセージを述べ、彼らが全ての国で果たしている働きに感謝し、また私たちの創立者の模範に従い、1対1で世界的な教育協定を構築するよう要請しました。そして彼らが働いているそれぞれの教育的努力に希望をもたらす人になるよう励ましました。「世界的教育協定という観点から見たマリアニスト教育の将来」に関する出席者の多い会議において、SMのAndré-Joseph Fétis総長は、私たちがこの任務をなし遂げるうえで従うべきいくつかの重要なカギとなる道筋を示しました。彼は、教皇フランシスコの呼びかけに応えることは、私たちが既に行っていることを刷新するようにしてくれるし、また、私たちが自分たちの教育事業におけるいくつかの重要な決断に導くようにしてくれる機会だと説明しました。

この会議を締めくくる前に、FMIのシスター Clotilde Fernández del PozoとSMのMaximin Magnan士の両教育局長は、私たちの教育をよりキリスト教的、マリアニスト的なものにし、よりオープンで外向的なものにするために、取るべき可能なステップを伴う一つの指針を提供しました。この会議は、種々委員会の働きと、スペインの私たちの会員たちが運営する「SM財団」の協力のお蔭

で、成功しました。彼らと、それぞれの方法でこの歴史的イベントの準備とスムーズな進行に携わった全ての方々に心から感謝申し上げます。

## 今日の聖性

教皇庁、列聖省は2022年10月3日から6日にかけてローマの“Augustinianum Patristic会館”にて行う検討会議を招集しました。この会議のテーマは；今日の聖性でした。マリアニスト列聖請願者、Antonio Gascon師がこの会議に出席しました。木曜日の朝、教皇フランシスコは教皇庁のクレメンタインホールに出席者を迎え入れられました。会議は、教皇フランシスコの使徒的勧告「喜びに喜べ（*Gaudete et exultate*）：現代世界における聖性への呼びかけについて（2018年）」に関して神学的、司牧的考察を開始するのが目的でした。



聖人と認められる聖性は全ての信者に共通しているものであり、あらゆる教会的身分や環境に広まっている聖性から湧き出て、その聖性を養い、またその聖性を表現するということが、全ての講演者と報告者によって分かち合われた確認でした。あらゆる教会的身分や環境とは次のことを意味しています：教会の歴史上の全ての時代の一般信徒、司教、司祭、教皇、男女修道者、男性と女性、年配者、子供と青年、裕福な者と貧しい者、あらゆる職業と文化レベル、地球上のあらゆる人民と国家です。第二バチカン公会議は、「教会に関する教義憲章（*Lumen gentium*）」の第5章：教会における聖性への普遍的呼びかけにおいて、この確信を明確に表明しました。

教会は、聖霊がその中に住まわれているので、聖なるものです。この同じ聖霊は神の聖性と神の国を地球上の全ての男性と女性、全ての人々と地域に広めるよう私たちに呼びかけています。従って、全ての講演者がその報告で表明した確信が2つあります：

1. 教会の全てのメンバーはその日常生活において神の聖性を生きています。すなわち、その日々の任務を通して、その家庭生活、仕事、レジャー、教会生活への参加、典礼、秘跡、社会的活動、修道的奉獻、そして司祭的奉仕職において、などです。それで、聖人と認められる聖性は、私たちのすぐ身近に生活している非常に多くの聖人たちから生じます。
2. 今日、教会にとっての問題と課題は、世俗化ではなく、このグローバル化された文化と文明に霊を、霊性を与えるということです。深く識別する心のために、人々を内面において、霊的価値に



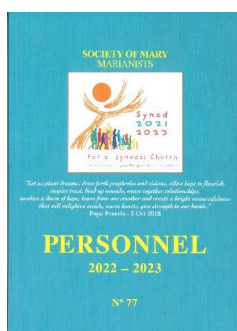
において養成することが急務となっており、それなしには、広く行き渡っている陳腐さと低俗さ、そして周囲の平凡さが人々、社会、文化を墮落させ、彼らを恐るべき経済的物質主義に陥らせることになるでしょう。問題は、公的な説明も公的な目的もなく、宗教を個人の問題として捉えている私たちの政治家や人々が、このような養成の必要性に気づかないことです。



教皇フランシスコは、聖性への呼びかけの有するリスク、チャレンジ、機会を考慮しつつその呼びかけを具現化しようと努めながら、私たちが置かれている現在の状況下で、聖性への呼びかけを新たにしよう私たちに強く勧めました。この会議の間に、教皇フランシスコは更に次のように言いました。自分たちの子供を愛情を込めて教育する両親の中に、日々の仕事で骨を折っている男性と女性の中に、つらい病気に耐えている人々の中に、私たちにほほ笑みかけ、またその人生の経験を私たちに分かち合ってくれる年配者の中に、神の民の聖性を見出すことが重要です。非常に多くの主の弟子たちが日常生活において生きた、キリスト教的高潔な行動の証しは、私たちすべての人にとって、聖人になるようにとの呼びかけ—私たちが知っている私たちがごく身近にいる聖人たちの一人になるようにとの呼びかけ—に個人的に応えるようにとの招きなのです。

---

## 2022 – 2023年の国際名簿が間もなく届きます！



今年度版、国際名簿が印刷され全行政単位の本部に送付されました。実際の名簿到着は各地の郵便と配達事情によります。パンデミックによる事態の複雑さが長期遅れの要因とならないように、そして間もなく届くよう願っています。

これら名簿が行政単位本部に届いたら、いつものように配布して下さい。

---

## 「ともに歩む教会」に関するシノドスへの奉獻生活の貢献

男女2つの総長連合会は、「共に歩む教会」に関する意見聴取に対する修道会の全ての回答のまと

めを最近発行しました。マリア会もこの集大成に応分の貢献を行いました。



この文書は共に歩む教会における修道者としての私たちの役割を考察するのに役立つものです。また、この文書は、私たちがこの文書から教会の中で生き、活動する方法を受け取る新たな機会を私たちに提示しています。

このような訳で、この文書（[英語](#)・[仏語](#)・[西語](#)）を個人で、あるいは共同体で読むようお願いします。

---

## 移住者と難民のためのお祈り



“移住者と難民と共に将来を築く”というテーマで、2022年9月25日、日曜日に祝われた第108回、「世界移住者と難民の日」に向けた教皇フランシスコのメッセージは、次の祈りで締めくくられています。

主よ、私たちが希望の使者としてください、  
そうすれば、暗闇のあるところに、あなたの光が耀き、  
失望のあるところに、将来への信頼が再び生まれるでしょう。

主よ、私たちがあなたの正義の道具としてください。  
そうすれば、排斥のあるところに、兄弟愛が開花し、  
強欲のあるところに、分かち合いの精神が育つでしょう。

主よ、私たちが、移住者と難民、また近くに住む全ての住民と共に、  
あなたの国の建設者としてください。

主よ、兄弟姉妹として共に住むのは如何に素晴らしいことかを学ばせてください。アーメン。

## 世界マリアニスト祈りの日

世界中の「世界マリアニスト祈りの日」の式典の写真を幾つか紹介します。



トーゴ



フランス



ベニン



マラウイ



コートジボワール



メキシコ

## 最近の総本部通信

- 計報：33-34号

## 総本部日程

- 11月11日~13日：ローマでのマリアニスト家族世界評議会の会議
- 11月15日：拡大総長評議員会のバーチャル会議

## メールアドレスの変更

- Sang Joon Thomas Park (韓国)：[bropsjsm@icloud.com](mailto:bropsjsm@icloud.com)